

畜産概論

講師名	堀間 久己	実務経験等	農業改良普及センター・農業研究センターでの普及指導員・専門研究員としての経験を活かし、畜産経営及び家畜の基礎的な事項、畜産物(肉類・牛乳)の優れた機能についての講義を担当している。
-----	-------	-------	--

科目区分	学科・経営科	必修・選択 (必修、自由)区分	履修 学年	開講 学期	標準 時間	単位数
全学科共通・専門科目	全学科	選択(必修)・D群	1	通年	30	2
使用教科書・副教材	「新版 家畜飼育の基礎」:阿部 亮 他著 (一般社団法人 農山漁村文化協会)					
授業の目的	畜産経営及び家畜の基礎的な事項のほか、畜産物(肉類、牛乳)の優れた機能について理解を深める。					
授業の到達目標	畜産経営及び家畜、畜産物の基礎的事項を理解する。					

月日	学習項目	学 習 事 項	時間	授業 形式	備 考 (提出物等)
4月20日	畜産の役割と動向	動物の起源と種類と役割、日本の畜産業の特徴と動向について理解を深める。	2	講義	
6月8日	家畜の品種	家畜の品種の成立と家畜(牛、豚、鶏)の主な品種について理解する。	2	講義	
6月11日	家畜の生理・生態と飼育環境	(1)家畜の生理・生態と飼料を理解する。 (2)家畜の飼育環境とその調節の仕方を理解する。	2	講義	
9月7日	畜産物の特性	乳・肉の生産に関する要因や畜産物の特色・加工について理解する。	2	講義	
	飼料の生産と利用	飼料作物の種類と利用方法について理解する。	2	講義	
9月8日	家畜飼養の実際(1)	乳牛や肉牛の飼養について理解する。	2	講義	
10月28日	畜産関係施設の役割	公共牧場や育成牧場、コントラクターなど畜産関係施設や外部支援組織の業務を理解する。	4	事例研究	レポート①
11月19日	家畜飼養の実際(2)	養鶏や養豚等の実際について理解する。	2	講義	
11月30日	家畜繁殖と育種	家畜の繁殖・増殖や能力の高い家畜づくりの方法について理解を深める。	2	講義	
12月17日	家畜飼育環境	環境変化が家畜の生育にどのように影響するかなどについて理解する。	2	講義	
1月7日	家畜の衛生と病気	家畜の健康維持と疾病予防の基本について理解する。	2	講義	
1月21日	畜産の経営管理等	畜産経営管理はどのようにし、どんな点に留意すればよいか	2	講義	
2月8日	牛と人との関わり	牛の博物館の事例研究により、牛の生物学と、牛と人との共生に関する幅広い知識を習得する。	4	事例研究	レポート②
		合計	30	時間	

成績評価の方式(評価項目、評価の観点、割合等)

筆記試験の得点、提出物、出欠及び授業態度により評価する。

評価割合、前期:レポート70%、平常点(学習態度、出席状況)30%、後期:筆記試験:70%、平常点:30%、

履修に当たっての留意点等

授業は、教科書、配布資料等より進め、授業は板書形態となる。